

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
社会の理解 I Understanding society I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択 (介護福祉士養成課程 必修)		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
高齢者に対する支援と介護保険制度 I、障害者に対する支援と障害者自立支援制度 I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護福祉士養成課程指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
山田 昇	講義棟2F	火・水・木9:00～16:00 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
国民の生活と社会保障・福祉の係りについて、現代社会の政治・経済・社会情勢の変化、行財政等から国・地方自治体の福祉施策の基本及び地域社会・家族の変容について学ぶ。また、国民の生活福祉問題とニーズの多様化、それに対応する福祉サービスの供給について高齢者・障害者中心に理解を深める。				
授業の目標				
①現代社会の現状と特徴を理解できるようにする。特に少子高齢社会の諸問題について説明できるようにする。 ②現代の貧困の背景と要因、その対応策について説明できるようにする。 ③障害者の自立支援について説明できるようにする。				
授業の方法				
講義を中心に進めるが、視聴覚教材を活用し現代の社会福祉問題の習得を図る。 自ら考えて実践できる能力を養うために様々なアプローチ方法を学んでいく。				
学習の成果 (学習成果)				
①社会福祉情勢の変化と社会保障・福祉との相関関係を理解し、説明することができる。 ②社会システムとして社会保障制度の存在を理解し、説明することができる。 ③マスコミ等により関連領域の知識を理解し、説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業の進め方、留意事項、成績評価等) 現代社会と社会保障、福祉との関連について			
第2回目	社会経済情勢の変化と行政 (国・地方公共団体) の変化と対応 地域社会の変化と家族機能について			
第3回目	地域コミュニティの変化と家族機能～高齢者・障害者・児童を中心として～			
第4回目	地域における社会福祉と社会資源の活用について			
第5回目	ライフスタイルの変化と産業構造、それに対応する社会保障制度の機能			
第6回目	住民の生活と社会保障・福祉政策との関わり～住民の生活と福祉～			

第7回目	社会保障制度の概要① 社会保障制度の機能と役割	
第8回目	社会保障制度の概要② 低所得・生活保護・関連領域	
第9回目	社会福祉サービス制度の概要① 高齢者・児童福祉・母子福祉	
第10回目	社会福祉サービス制度の概要② 障害者福祉	
第11回目	年金・医療保障制度・介護保険制度	
第12回目	社会保障の財源（日本と諸外国）	
第13回目	社会保障・福祉の実施体制（国・地方自治体・民間組織）	
第14回目	地域福祉の展開と推進～住民の組織化と参加・福祉教育・ボランティア活動～	
第15回目	社会保障・福祉の展望と課題 授業のまとめ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	70%	論述、記述式の定期試験を行い評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「社会の制度と理解」介護福祉士養成講座・中央法規 参考書・参考資料：授業の都度指示、資料を配布する		
履修上の留意点・ルール		
社会保障・福祉に関する資料・データ等を新聞等から収集しておくこと。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。		